

TEAM MYODEN



市川市立妙典中学校 生徒指導だより 令和6年12月6日 第8号

教育目標：未来を拓く妙典中学生＜明るく・正しく・美しく＞

目指す生徒：◎ふれあいを大切にする生徒 ◎進んで学ぶ生徒 ◎頑張りぬく生徒

◎1年を振り返ろう

12月になり、一年の締めくくりとなる月になりました。年の初めに立てた目標は達成できたでしょうか。自分の成長のため、この一年を振り返り、頑張ったことや成果、もっと伸ばしたいところなどを見つめなおしましょう。

◎人との距離感を大切に

みなさんは、人と接するとき距離感を意識しているでしょうか。人にはそれぞれパーソナルスペースがあり、その広さはさまざまです。このパーソナルスペースに踏み込んでしまうと、相手が不快に感じてしまいます。

パーソナルスペースには、実際の距離感と、心理的な距離感の2つがあり、人と良好な関係を続けるにはそれぞれに配慮をすることが大切です。

実際の距離感では、相手にくっついたり、必要以上に近づいたりしていないかを意識してみましょう。

心理的な距離感では、必要以上にメッセージを送ったり、やたらと返信を催促したりしていないかを意識してみましょう。

相手は落ち着いて生活がしたい、ゆっくり考えごとがしたい、集中したいといった気持ちを持っているかもしれません。人と仲良くするためにも、相手の気持ちにも寄り添いましょう。

また、距離感が近すぎると、ちょっとした出し合ってトラブルにつながったり、思わぬ事故が起きたりします。

相手に応じて適切な距離感を持てるように、これまでのコミュニケーションを振り返ってみましょう。

◎日々を積み重ねて成長する

何事も、成功することもあれば、失敗することもあります。そもそも行動しなくては結果が出ません。だからこそ、チャンスがあるときに積極的に行動することができるよう、日ごろからの積み重ねが大切です。

大事なチャンスを目の前にして、その場だけでなんとかしようとしても、うまくいかないものです。何度も練習したり、多くの経験を積み重ねたり、日ごろからの行動を心掛けたり、小さな努力を重ねることで、たった1度のチャンスをつかむことができます。ちょうど年末。自分を見つめなおし、行動を変えるよい機会にしましょう。

◎何のために学ぶのか

人はなぜ学ぶのでしょうか。さまざまな理由を考えることができますが、その1つとして知っておいてもらいたい理由は、“知識の量が豊かな生活に結び付くから”です。

①知ることでより良い判断ができる

様々なことを知ったり、経験すると、その知識をもとにしてより良い判断をすることができるようになります。失敗を経験して学ぶというのも、経験という知識を得ることにつながります。

②知ることで見える世界が広がる

私たちは、自分の感じ方、考え方によって物事をとらえ、判断します。ですから、多くの知識を持つことは、多くの感じ方、考え方を持つことにつながります。

知識をもつことで気づくことが増えたり、より深く物事を理解することができるので、同じ景色でも見え方が変わってきます。

学ぶというのは、ただテストで評価されるための行動ではなく、みなさんが生きていく上での可能性を広げ、充実した生活を送るための活動です。日頃の学校生活の中で、多くのことを学び、自分の将来を豊かなものにしてください。